

関西財界セミナー賞 2024

関西財界セミナー賞は、関西において、強い競争力や優れたビジネスモデルを持ち、その独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人を表彰している。



大賞

株式会社たねや



〈受賞理由〉

創業地の滋賀で長年菓子作りに取り組みながら、地域の住民向けの農業体験や地元農家と連携した有機栽培など地域に根付いた活動も展開。旗艦店「ラ コリーナ近江八幡」を2015年に開業、昨年は約409万人に会場いただいた。豊かな自然・ふるさとの風土を未来に継承するため、これからも精一杯精進していきたい。

〈受賞コメント〉 山本 昌仁 代表取締役社長

会社も私も近江八幡に生まれて本当に良かったと実感している。次世代に地元の素晴らしさを伝えたいという思いから、「自然に学ぶ」をテーマに「ラ コリーナ近江八幡」を2015年に開業、昨年は約409万人に会場いただいた。豊かな自然・ふるさとの風土を未来に継承するため、これからも精一杯精進していきたい。

特別賞

神山まるごと高等専門学校



〈受賞理由〉

起業家の育成を目的とする新設高等専門学校として、2023年4月に徳島県神山町に開校。独自の給付型奨学金による学費の無償化、学生だけでなく教員スタッフも現地に移り住む全寮制等、その取り組みは地方創生のロールモデルとしての評価も高い。

〈受賞コメント〉

小池 亮介 広報責任者

次世代を担う起業家の卵の育成をめざし、テクノロジーやデザイン、起業家精神を学べる国内58校目の高等専門学校を開校した。企業の皆さまには開校・運営資金や奨学金基金など学校づくりに関して多大なご寄付をいただいた。100年続く学校にしていきたいので、今後ともご支援・ご指導をたまわりたい。

認定NPO法人 グローバル人材開発センター



〈受賞理由〉

グローバルな視点で物事を考え、地域の持続的な発展に情熱を注ぐ人材を育成することを目的に、地元の学生が企業や行政の課題解決に取り組むプロジェクトを展開。地元企業と若者の協働・価値創造の好循環の創出につながっている。

〈受賞コメント〉

行元 沙弥 代表理事

学生を未来の象徴ととらえ、企業人や大学教授など世代を超えた方々と議論を交わすなかで生まれた組織である。プロジェクトを通じて企業が学生の意見を経営戦略に取り入れる事例も出るなど、京都経済界の賛同・後押しがあって、活動を続けることができた。今後も学生と企業との協働を実現していきたい。

豊岡演劇祭実行委員会



〈受賞理由〉

兵庫県の但馬地域で開催される豊岡演劇祭を企画・運営し、住民がさまざまなアーティストやプロデューサーと交流する場を生み出している。加えて地域の自立的なビジネスの活性化やサービスの創出等にも取り組み、地域の活性化に貢献している。

〈受賞コメント〉

高宮 浩之 会長

2019年に開始した豊岡演劇祭は年々規模が拡大し、多くの方が訪れる。観光への貢献はもとより、地元産業のPRの場として地域経済にも好影響を与えている。関連する地域おこし協力隊の気力が高まったことで、いまや人口減少を止める役割も担っている。今年も9月に開催を予定している。ぜひお越しいただきたい。

輝く 女性賞

株式会社コーミン 代表取締役 入江 智子氏



〈受賞理由〉

大阪府大東市にて、老朽化した公営住宅の建て替えを全国で初めて公民連携の事業手法を用いて実施。オフィスや店舗を併設し豊かな生活を実現する「morinekiプロジェクト」は、民間主導による新しいまちづくりの手法として全国から注目されている。

〈受賞コメント〉

大東市の出資を得て会社を設立、市営住宅の建て替えプロジェクトを進め、「morineki」を作った。オープンから3年、まちには子育て世代が増え、新たな店舗も入り、変化が生まれていてうれしく思う。今後も公民連携の手法を使い行政の負担を減らしつつ、まちの発展に寄与する取り組みを進め、関西経済を元気にしていきたい。

アイフォースリー合同会社 代表社員 長岡 里奈氏



〈受賞理由〉

廃棄される目薬のボトルをリサイクルした素材でできたフレームを採用した眼鏡やサングラスを製造・販売。売り上げの一部をインドの眼科健診や白内障手術を支援する団体に寄付するなど、SDGsの実現に貢献する活動を実践している。

〈受賞コメント〉

学生時代にインドへ留学した際に、白内障で失明した患者と出会い、医療格差に違和感を覚えた。ルート製業に入社後、目薬ボトルの生産過程で出る大量の廃プラスチック問題に直面し、これを活用する社内ベンチャーを立ち上げた。売り上げの一部を寄付し、インドの白内障手術支援などに役立っている。今後も活動を広めていきたい。

株式会社サポートどれみ 代表取締役 中村 敦美氏



〈受賞理由〉

介護や育児で忙しい利用者の負担軽減をはかる家事代行サービスや、障がい者・高齢者向け旅行支援サービスを提供。特に車椅子やベビーカーに対応した独自の旅行プランの提供など「誰も置き去りにしない社会」の実現に貢献している。

〈受賞コメント〉

寝たきりの姑の介護や障がい児である次女の子育ての経験などをふまえて事業を展開している。旅行を支援した車椅子利用者の生き生きとした表情に後押しされ、昨年12月、全座席が車椅子のカフェを京都の伏見稲荷に開業した。このカフェでは一般の方も車椅子を体験することができる。今後、こうした取り組みを全国に広げていきたい。

認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 代表理事 正井 禮子氏



〈受賞理由〉

DV被害やさまざまな社会的要因のために困難な状況にある女性と子どもの支援ネットワークを立ち上げ、相談からシェルターでの緊急一時保護、その後の生活再建まで総合的な支援を行い、女性と子どもの人権擁護や男女平等社会の実現に貢献している。

〈受賞コメント〉

女性と子どもの支援を30年続けてきた。現在、自宅の取得に困難を抱える女性たちに住まいを提供するプロジェクトを立ち上げ、NPOと民間企業が連携して社会貢献につながる建物を作っている。こうした取り組みが、神戸から全国に広がることを強く願っており、企業の皆さまからの支援をいただくと非常にありがたい。

株式会社青木松風庵



〈受賞理由〉

女性の能力開発や人材育成を目的とした研修を積極的に実施しており、現在、女性管理職の比率は約7割、女性店長も多数在籍している。福利厚生の一環として工場の施設内に保育園を開園し、従業員が安心して長く働ける環境を整備している。

〈受賞コメント〉 青木 一郎 代表取締役社長

独自の評価制度によりパート社員であっても優秀な人材であれば管理職に引き上げる取り組みや、全額会社負担で通える保育園を工場施設内に併設するなど女性が働きやすい環境づくりを実践している。役員半数と管理職の7割が女性であり、今後も、女性が活躍し続ける素晴らしい会社を作り上げていきたい。